

## (22) 電気通信工学教育における授業モデルの検討

電気通信工学教育FD/ICT活用研究委員会は、7月、9月、11月の3回開催した。

電気通信の社会における最新技術のニーズ、安心・安全、自然環境、社会環境の課題について、問題発見や解決方法を考えることができる能力を身に付けさせるための授業デザインを検討している。

一つは、電気通信分野の基礎的な知識を身に付けさせるために、LMS上でファシリテータによる学習支援を取り入れ、PBLによりグループ学習を行い、授業時間外も含めて振り返りながら4年間で学びを確実にしていく授業モデルを検討している。

二つは、安心・安全、自然環境、社会環境の課題について総合的に学びを確認するために、卒業研究を対面やネット上で複数の教員や産業界の関係者が指導し、問題解決する能力を育成する授業モデルを検討している。